

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.2.15-21

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

13:44 天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買いいます。

13:45 また、天の御国は、良い真珠を捜している商人のようなものです。

13:46 すばらしい値うちの真珠の一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってしまいます。

13:47 また、天の御国は、海におろしてあらゆる種類の魚を集める地引き網のようなものです。

13:48 網がいっぱいになると岸に引き上げ、すわり込んで、良いものは器に入れ、悪いものは捨てるのです。

13:49 この世の終わりにもそのようになります。御使いたちが来て、正しい者の中から悪い者をえり分け、

13:50 火の燃える炉に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ざりしりするのです。

13:51 あなたがたは、これらのことがみなわかりましたか。」彼らは「はい。」とイエスに言った。

13:52 そこで、イエスは言われた。「だから、天の御国の弟子となった学者はみな、自分の倉から新しい物でも古い物でも取り出す一家の主人のようなものです。」

13:53 これらのたとえを話し終えると、イエスはそこを去られた。

13:54 それから、ご自分の郷里に行って、会堂で人々を教え始められた。すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と不思議な力をどこで得たのでしょうか。」

13:55 この人は大工の息子ではありませんか。彼の母親はマリヤで、彼の兄弟は、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではありませんか。

13:56 妹たちもみな私たちといっしょにいるではありませんか。とすると、いったいこの人は、これらのものをどこから得たのでしょうか。」

13:57 こうして、彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が尊敬されないのは、自分の郷里、家族の間だけです。」

13:58 そして、イエスは、彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇蹟をなさらなかった。

「天の御国」は「持ち物を全部売り払って」でも、手に入れる価値のあるものです。また「天の御国」では、「良いもの」と「悪いもの」とがはっきりと区別されるほど、価値観や善悪や正誤が明確です。私たちも自分のあいまいさを、いつまでも続けることはできないのだと知って、その信仰の行いを明確にしましょう。

イエス様を信じようとしらない人は、どんなことでも批判のタネにしようとしします。郷里では、イエス様の家族が普通の人であることで、イエス様を信じようとしませんでした。神が人とならなければ罪の贖いは実現しませんでした。その人となられたという事実が、不信者にはつまずきとなるのです。

イエス様は彼らには奇蹟の力を見せても、それが信仰につながらないと判断なさって、奇蹟を行わなかったと思われま。

心からイエス様を尊敬し、それ以上にあがめて、信仰を持って、奇蹟のわざをしていただけるようでありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14:1 そのころ、国主ヘロデは、イエスのうわさを聞いて、

14:2 侍従たちに言った。「あれはバプテスマのヨハネだ。ヨハネが死人の中からよみがえったのだ。だから、あんな力が彼のうちに働いているのだ。」

14:3 実は、このヘロデは、自分の兄弟ピリポの妻ヘロデヤのことで、ヨハネを捕えて縛り、牢に入れたのであった。

14:4 それは、ヨハネが彼に、「あなたが彼女をめとるのは不法です。」と言い張ったからである。

14:5 ヘロデはヨハネを殺したかったが、群衆を恐れた。というのは、彼らはヨハネを預言者と認めていたからである。

14:6 たまたまヘロデの誕生祝いがあって、ヘロデヤの娘がみなの前で踊りを踊ってヘロデを喜ばせた。

14:7 それで、彼は、その娘に、願う物は何でも必ず上げると、誓って堅い約束をした。

14:8 ところが、娘は母親にそそのかされて、こう言った。「今ここに、バプテスマのヨハネの首を盆に載せて私に下さい。」

14:9 王は心を痛めたが、自分の誓いもあり、また列席の人々の手前もあって、与えるように命じた。

14:10 彼は人をやって、牢の中でヨハネの首をはねさせた。

14:11 そして、その首は盆に載せて運ばれ、少女に与えられたので、少女はそれを母親のところに持って行った。

14:12 それから、ヨハネの弟子たちがやって来て、死体を引き取って葬った。そして、イ

エスのところに行って報告した。

ヨハネは向こう見ずな正義感によって、ヘロデを非難したのではありません。主の道を備えるという、自分の生涯の使命を力強く生きたのです。その結果、悪によって殺されましたから、ここだけ読むなら悪の力が勝ってしまったかのように思えます。しかしその後の歴史を見ると違います。

ヘロデは道徳を犯してまでも、兄弟の妻であるヘロデヤと結婚しましたが、その後ヘロデヤの野心にそそのかされて皇帝に上訴に行き、その結果は謀反人と見られて流刑の地で死んだのです。この世の権力がいかに強くても、神に反しては破滅の道をたどるしかないのです。

一方ヨハネはその使命を果たし、主イエスから大いなるものとの称号をいただき、当然ながらヘロデとは違って、すばらしい栄光の生涯を全うしました。ここに神の国に生きる者の勝利があります。

私たちは命の危険までではないですが、何かを恐れながら信仰を貫けない場合があるかもしれません。そのときは、本当の勝利は誰の上に輝くのか、全能にして永遠の神を見上げて考えるようにしましょう。本当の勇気が信仰によって与えられるでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14:13 イエスはこのことを聞かれると、舟でそこを去り、自分だけで寂しい所に行かれた。すると、群衆がそれと聞いて、町々から歩いてイエスのあとを追った。

14:14 イエスは舟から上がられると、多くの群衆を見られ、彼らを深くあわれんで、彼らの病気を直された。

14:15 夕方になったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。「ここは寂しい所ですし、時刻ももう回っています。ですから群衆を解散させてください。そして村に行つてめいめい食物を買うようにさせてください。」

14:16 しかし、イエスは言われた。「彼らが出かけて行く必要はありません。あなたがたで、あの人たちに何か食べる物を上げなさい。」

14:17 しかし、弟子たちはイエスに言った。「ここには、パンが五つと魚が二匹よりほかありません。」

14:18 すると、イエスは言われた。「それを、ここに持って来なさい。」

14:19 そしてイエスは、群衆に命じて草の上になすわらせ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて、それらを祝福し、パンを裂いてそれを弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。

14:20 人々はみな、食べて満腹した。そして、パン切れの余りを取り集めると、十二のかごにいっぱいあった。

14:21 食べた者は、女と子どもを除いて、男五千人ほどであった。

人々は生きることができました。今はイエス様が生きる糧を与えてくださるということです。それは「余りを集め」ても十二のかごを満たすほどでした。その意味は、全人類の救い（永遠のいのち）が成就した後の余りでさえ、イスラエルの十二の部族を満たすことができるということです。

そしてそのイエス様の救いは、肉の糧ではなく永遠のいのちであり、ご自身がいのちのパンとなられたのです。私たちはこのイエス様を信じて、内に受け入れ（食して）、永遠のいのちをいただきました。

このような救いは、弟子たちがその奉仕によって配ったように、私たち救われた者に託されています。そしてその信仰は、五つのパンと二匹の魚を差し出したような、与える信仰によって始まるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14:22 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗り込ませて、自分より先に向こう岸へ行かせ、その間に群衆を帰してしまわれた。

14:23 群衆を帰したあとで、祈るために、ひとりで山に登られた。夕方になったが、まだそこに、ひとりでおられた。

14:24 しかし、舟は、陸からもう何キロメートルも離れていたが、風が向かい風なので、波に悩まされていた。

14:25 すると、夜中の三時ごろ、イエスは湖の上を歩いて、彼らのところに行かれた。

14:26 弟子たちは、イエスが湖の上を歩いておられるのを見て、「あれは幽霊だ。」と言って、おびえてしまい、恐ろしさのあまり、叫び声を上げた。

14:27 しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりといなさい。わたしたち、恐れることはない。」と言われた。

14:28 すると、ペテロが答えて言った。「主よ。もし、あなたでしたら、私に、水の上を歩いてここまで来い、とお命じになってください。」

14:29 イエスは「来なさい。」と言われた。そこで、ペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスのほうに行った。

14:30 ところが、風を見て、こわくなり、沈みかけたので叫び出し、「主よ。助けてください。」と言った。

14:31 そこで、イエスはすぐに手を伸ばして、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。」

14:32 そして、ふたりが舟に乗り移ると、風

がやんだ。

14:33 そこで、舟の中にいた者たちは、イエスを拝んで、「確かにあなたは神の子です。」と言った。

14:34 彼らは湖を渡ってゲネサレの地に着いた。

14:35 すると、その地の人々は、イエスと気がついて、付近の地域にくまなく知らせ、病人という病人をみな、みもとに連れて来た。

14:36 そして、せめて彼らに、着物のふさにもさわらせてやってくださいと、イエスにお願いした。そして、さわった人々はみな、いやされた。

イエス様と弟子たちの思い出はたくさんあったでしょうが、マタイはこの出来事を選んできました。そこには不思議以上の信仰の意義があって、弟子たちが大いに教えられたからです。

イエス様は弟子たちを愛しておられました。時にはひとりになって、御父との交わり、すなわち祈るためにお一人になりました。またイエス様がいなければ弟子たちは、「恐ろしさのあまり、叫び声を」上げるほど気弱な者たちであったことがわかります。そしてそれら以上に、この湖上での出来事は印象深いものでした。

弟子たちはイエス様がそばにいるのに気づかずに、幽霊と勘違いしてしまいました。私たちも同じように、ともにいてくださるイエス様に気づかないままではなく、交わる者となりましょう。

またペテロのように、イエス様がおられるなら、そのことを確信したいと思うこともあります。イエス様はそれをお許しになりますが、ペテロは風を見て恐ろしくなりました。私たちも、主を見るのではなく、問題を見てしまうことで、むしろ沈んでしまうことがあるのです。問題は決定的ではなく、主との関係が決定的なのです。

問題解決はさておいても、主イエスをしっかりと見上げましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15:1 そのころ、パリサイ人や律法学者たちが、エルサレムからイエスのところに来て、言った。

15:2 「あなたの弟子たちは、なぜ昔の先祖たちの言い伝えを犯すのですか。パンを食べるときに手を洗っていないではありませんか。」

15:3 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「なぜ、あなたがたも、自分たちの言い伝えのために神の戒めを犯すのですか。」

15:4 神は『あなたの父と母を敬え。』また『父や母をのしる者は、死刑に処せられる。』と言われたのです。

15:5 それなのに、あなたがたは、『だれでも、父や母に向かって、私からあなたのために差し上げられる物は、供え物になりましたと言う者は、

15:6 その物をもって父や母を尊んではならない。』と言っています。こうしてあなたがたは、自分たちの言い伝えのために、神のことばを無にしまいました。

15:7 偽善者たち。イザヤはあなたがたについて預言しているが、まさにそのとおりです。

15:8 『この民は、口先ではわたしを敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。

15:9 彼らが、わたしを拝んでも、むだなことである。人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』

15:10 イエスは群衆を呼び寄せて言われた。「聞いて悟りなさい。

15:11 口にはいる物は人を汚しません。しかし、口から出るもの、これが人を汚します。」

15:12 そのとき、弟子たちが、近寄って来て、イエスに言った。「パリサイ人が、みことばを聞いて、腹を立てたのをご存じですか。」

15:13 しかし、イエスは答えて言われた。「わたしの天の父がお植えにならなかった木は、みな根こそぎにされます。

15:14 彼らのことは放っておきなさい。彼らは盲人を手引きする盲人です。もし、盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むのです。」

15:15 そこで、ペテロは、イエスに答えて言った。「私たちに、そのたとえを説明してください。」

15:16 イエスは言われた。「あなたがたも、まだわからないのですか。」

15:17 口にはいる物はみな、腹にはいり、かわやに捨てられることを知らないのですか。

15:18 しかし、口から出るものは、心から出て来ます。それは人を汚します。

15:19 悪い考え、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、ののしりは心から出て来るからです。

15:20 これらは、人を汚すものです。しかし、洗わない手で食べることは人を汚しません。」

律法を形式的に守って自己義認に陥っていたパリサイ人は、その抜け穴を考えては、都合のよい解釈をしていました。自分を正当化する人は、都合の良い解釈や偏った解釈で、決まりごとを利用するのです。そのようなことをしていないか、吟味しましょう。

イエス様は、何を食べるかなどといった行いによって、人が汚れるのではなく、内側かの罪が人を汚しているのだといわれます。

自分自身の心に汚れや罪がないか、よく考えて

みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15:21 それから、イエスはそこを去って、ツロとシドンの地方に立ちのかれた。
15:22 すると、その地方のカナン人の女が出て来て、叫び声をあげて言った。「主よ。ダビデの子よ。私をあわれんでください。娘が、ひどく悪霊に取りつかれているのです。」
15:23 しかし、イエスは彼女に一言もお答えにならなかった。そこで、弟子たちはみもとに来て、「あの女を帰してやってください。叫びながらあとについて来るのです。」と言ってイエスに願った。
15:24 しかし、イエスは答えて、「わたしは、イスラエルの家の滅びた羊以外のところには遣わされていません。」と言われた。
15:25 しかし、その女は来て、イエスの前にひれ伏して、「主よ。私をお助けください。」と言った。
15:26 すると、イエスは答えて、「子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくないことです。」と言われた。
15:27 しかし、女は言った。「主よ。そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパンくずはいただきます。」
15:28 そのとき、イエスは彼女に答えて言われた。「ああ、あなたの信仰はりっぱです。その願いどおりになるように。」すると、彼女の娘はその時から直った。

イエス様はまず、ユダヤ人に伝道しました。ユダヤ信仰の正典である旧約聖書に約束された救い主であることを示すためです。またユダヤ人は自分たち以外の民族のことを、すなわち異邦人のことを、まことの神を知らないという理由で忌み嫌っていました。

このカナン人の女も異邦人でしたから、まだイエ

ス様の伝道対象ではなく、また忌み嫌われていた存在でした。しかしそうであっても霊的には、すばらしい信仰の持ち主だったのです。

主イエスの力を信じて疑わない強い信仰、断られてもさらに求める積極的な信仰と信頼、そして「小犬でも」という謙遜な信仰です。

私たちもそのような信仰で、主に求め続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15:29 それから、イエスはそこを去って、ガリラヤ湖の岸を行き、山に登って、そこにすわっておられた。

15:30 すると、大ぜいの人の群れが、足なえ、不具者、盲人、おしの人、そのほかたくさんの人をみもとに連れて来た。そして、彼らをイエスの足もとに置いたので、イエスは彼らをおいやりになった。

15:31 それで、群衆は、おしがものを言い、不具者が直り、足なえが歩き、盲人が見えるようになったのを見て、驚いた。そして、彼らはイスラエルの神をあがめた。

15:32 イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。「かわいそうに、この群衆はもう三日間もわたしといっしょにいて、食べる物を持っていないのです。彼らを空腹のまま帰らせたくありません。途中で動けなくなるといけないから。」

15:33 そこで弟子たちは言った。「このへんぴな所で、こんなに大ぜいの人に、十分食べさせるほどたくさんパンが、どこから手にはいるでしょう。」

15:34 すると、イエスは彼らに言われた。「どれぐらいパンがありますか。」彼らは言った。「七つです。それに、小さい魚が少しあります。」

15:35 すると、イエスは群衆に、地面にすわるように命じられた。

15:36 それから、七つのパンと魚とを取り、感謝をささげてからそれを裂き、弟子たちに与えられた。そして、弟子たちは群衆に配った。

15:37 人々はみな、食べて満腹した。そして、



パン切れの余りを取り集めると、七つのごにいっぱいあった。

15:38 食べた者は、女と子どもを除いて、男四千人であった。

15:39 それから、イエスは群衆を解散させて舟に乗り、マガダン地方に行かれた。

以前のパンの奇蹟は12という数字が強調されており、イスラエルの部族の数を表していました。ここでは7であって、それは完全数を表します。つまりイエス様が与えてくださるパンは、イスラエルにも十分であり、また全人類にとっても完全であるということです。ここでパンは命の糧であり、イエス様ご自身とまたイエス様が与えてくださる命とを表したものです。

このようにイエス様のみわざには意味がありません。私たち自身に起こる出来事には意味がありませんし、ましてや祈って与えられた結果には大切な意味と御心がありますから、それをしっかり悟って、正しい道に歩みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

